

## 重要文化財「吉村家住宅」

10月29日(土)・30日(日)に特別公開

重要文化財「吉村家住宅」(島泉5丁目・近鉄南大阪線高鷲駅から北へ徒歩15分)の秋季特別公開は、10月29日(土)・30日(日)の2日間開催されます。開催時間は、午前の部が10:00～正午、午後の部が13:00～15:00まで、見学料は500円です。(小学生以下は保護者



同伴に限り、中学生以下は無料です)今回も予約制で実施されますので、ご希望の方は社会教育課 歴史文化推進室担当へ☎(958-1111)またはFAX(956-7196)にてお申し込みください。

吉村家は、鎌倉幕府を開いた源頼朝の近くにあつて功を重ねた武将・佐々木高綱の子孫で、鎌倉時代初期に島泉付近に移り住んだと伝えられ、江戸中期には、現在の羽曳野市、松原市、八尾市などのあった18ヵ村の大庄屋を務めて

いました。住宅は、元和元年(1615)大坂夏の陣の直後に建築されたとみられ、桃山時代の書院造りの建築様式を一部に留める代表的な上層農家の遺構です。

5,280㎡(約1,600坪)の敷地には、主屋、長屋門や土蔵などが、昔日のおもかげをとどめて並んでい

ます。当日、主屋では、つり部屋やカマドがある土間、主人とその家族が住んだ居室、古風な興寄せの玄関、書院造りの座敷、意匠を凝らした明障子や欄間の透かし彫り、長押の釘隠し金具、襖の引き手などがある客室部などを見学できますので、ぜひお出かけください。

(午前は10:30頃、午後は13:30頃から吉村さん(ご当主)の説明を予定しています。)

(社会教育課 歴史文化推進室担当 内線4482)

## 畑田家住宅(登録有形文化財)を一般公開!

同時開催:医療フォーラム「高齢化社会を生き抜くには」

主催:畑田家住宅活用保存会 後援:羽曳野市・羽曳野市教育委員会 協賛:大阪大学総合学術博物館

### 【一般公開】

平成11年6月に国の有形文化財に登録された畑田家住宅は、羽曳野市郡戸の旧家で、田の字型の主屋や長屋門とそれに続く2棟の蔵や納屋などは明治時代の屋敷構えの趣きをよく残しています。この貴重な文化財を一般に公開しますので、奮ってご参加ください。

日時 2011年11月20日(日)10:30～12:00

参加 往復はがきに「一般公開」、住所・氏名・年齢・参加人数を明記し、

〒583-8585 羽曳野市教育委員会

社会教育課 歴史文化推進室担当へ

☎072-958-1111(4480)

費用 無料

### 【医療フォーラム】 高齢化社会を生き抜くには

医療法人はただ診療所

前理事長・医師 畑田 耕司氏

日本人の平均寿命が80歳代になり、世界一になって久しくなります。日本国民としてご同慶の至りです。何しろ、昔の中国文明が理想とした桃源郷のような国家で、ひとりひとは飢えや寒さにおびやかされることもない仙人の境地で長寿をまっとう出来ているのです。

ところが、「高齢社会」に関連して老人が生きてゆく上で、今までにない変化が起こっています。誰もが迎えるこの高齢化社会を生き抜く方法を皆さんで考えましょう。

日時 2011年11月20日(日)13:30～16:30

定員 先着40人

参加 往復はがきに「医療フォーラム」、住所・氏名・年齢・参加人数を明記の上、  
〒583-8585 羽曳野市教育委員会  
社会教育課 歴史文化推進室担当まで  
※一般公開も希望の方は同じはがきにお書きください。

費用 無料

問合せ 畑田家住宅活用保存会 当主:畑田 耕一

☎072-762-7495

### 畑田家住宅へのご案内

所在地 羽曳野市郡戸470 ☎072-955-4101

### 交通

近鉄南大阪線恵我ノ荘駅から南へ徒歩30分

近鉄南大阪線河内松原駅から近鉄バス平尾行きに乗車、郡戸バス停下車徒歩3分

近鉄南大阪線河内松原駅あるいは藤井寺駅からタクシー15分